

【問合せ先】

(財)ふくい産業支援センター
プロジェクト研究推進室 安田、強力
0776-55-1555

地域新生コンソーシアム研究開発事業の採択決定について
【(財)ふくい産業支援センター実施分】

財団法人ふくい産業支援センターが管理法人となって実施する下記2件の産学官共同研究プロジェクトが、経済産業省の平成18年度の地域新生コンソーシアム研究開発事業に採択されることとなりました。

この2件の産学官共同研究プロジェクトは、福井県の産力強化を図るため、「最先端技術のメッカづくり基本指針」に掲げる「チタン・マグネシウム加工技術」、「先端マテリアル創成・加工技術」について、実用化に向けた高度な技術開発を行うことを目的に、(財)ふくい産業支援センターが管理法人となって、平成19年度末までの2カ年計画で研究開発を行うものです。

1 ノートパソコン冷却用自励振動ヒートパイプの開発

概要：無電力で冷媒が循環する熱交換システムを実現することにより、ノートパソコン用小型軽量冷却装置の開発する。

研究参画機関

企業：福井鋌螺株式会社（あわら市）、株式会社西村金属（鯖江市）

大学等：福井工業大学

公設試：福井県工業技術センター

最先端技術のメッカづくり分野：チタン・マグネシウム加工技術

2 ナノ粒子分散多層製膜技術による超耐久性プラスチック食器の開発

概要：クラックが無く密着性が良好な表面加工を実現することにより、汚れにくく高温耐久性のあるプラスチック食器の開発する。

研究参画機関

企業：株式会社下村漆器店（鯖江市）、有限会社日下レアメタル研究所（東京都）

大学等：国立大学法人静岡大学、国立大学法人福井大学、

独立行政法人産業技術総合研究所（愛知県）

公設試：福井県工業技術センター

最先端技術のメッカづくり分野：先端マテリアル創成・加工技術

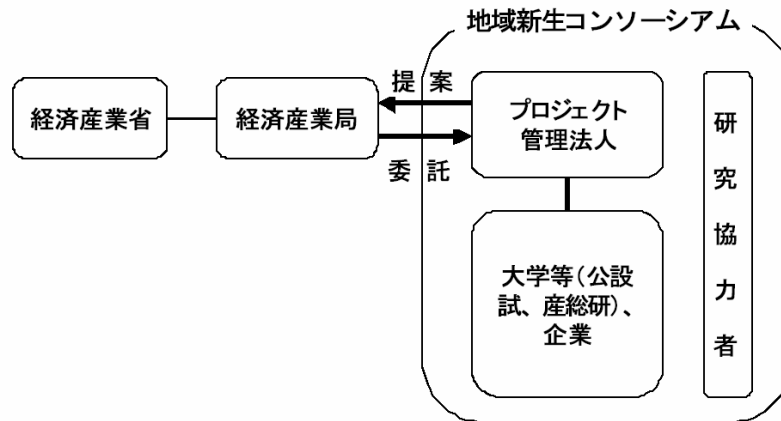
各プロジェクトの概要は別紙をご覧ください。

< 参考 >

< 地域新生コンソーシアム研究開発事業の概要 >

本事業は、地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、大学等の技術シーズや知見を活用した産学官の強固な共同研究体制（地域新生コンソーシアム）の下で、実用化に向けた高度な研究開発を行うことを目的としています。

- ・ 研究開発の規模：（一般枠） 1億円/年 以内（2年目は5千万円 以内）
（中小企業枠）3千万円/年 以内（2年目は2千万円 以内）
- ・ 研究開発期間：2年間 以内



< 平成17年度採択分 地域新生コンソーシアム研究開発事業 >
管理法人 (財)ふくい産業支援センター 研究期間 平成17～18年度

LIPAA プロセスによる透光性電磁波シールド材の開発

研究参画機関 企業：セーレン(株)(福井市)、アイテック(株)(鯖江市)
セーレン電子(株)(福井市)
大学等：理化学研究所(埼玉県)、福井大学
公設試：福井県工業技術センター
最先端技術のメッカづくり分野：レーザー高度利用技術

短パルスレーザー精密3次元加工装置の開発

研究参画機関 企業：(株)松浦機械製作所(福井市)、アイシン精機(株)(愛知県)
大学等：福井大学、金沢大学
公設試：福井県工業技術センター
最先端技術のメッカづくり分野：レーザー高度利用技術

水素燃料電池自動車用70MPa級プラスチック高压容器の開発

研究参画機関 企業：丸八(株)(坂井市)、武生特殊鋼材(株)(越前市)
大学：大阪大学大学院、東京大学生産技術研究所、首都大学東京
最先端技術のメッカづくり分野：先端マテリアル創成・加工技術

平成17年度採択分を併せ、最先端技術のメッカづくり分野の先端マテリアル創成・加工技術2件、チタン・マグネシウム加工技術1件、レーザー高度利用技術2件 計5件の地域新生コンソーシアム研究開発事業を実施します